

しょうがいしゃきほんほうかいせい む
～ 障害者基本法改正に向けて ～

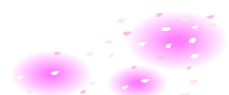
りしちょう おくやま はづき
理事長 奥山 葉月

2009 年に内閣府に設置された「しょうがいしゃきほんほうかいせい しんぽんぶ」は、しょうがいしゃけんりじょうやく ひじゅん ていけつ に
向けて、必要な国内法の整備を始めとする障害者制度の集中的な改革を行なう事を目的に、内閣総理大臣
を本部長に全国務大臣で構成されたものです。その具体的な改革の内容をまとめる「しょうがいしゃきほんほうかいせい
しんぽんかいぎ」の構成委員は、国連での条約策定の議論に関わった障害者や関係者などが半数を占めています。

この推進会議では、昨年 12 月 17 日「しょうがいしゃきほんほうかいせい しんぽんかいぎ」(以下、第二次意見
と略す)がまとめられました。第二次意見では、基本法の総則と各則における各項目、障害者施策の推進
体制などについて、「推進会議の認識」と「しょうがいしゃきほんほうかいせい しんぽんかいぎ」に当たって政府に求める事項に関する意見」
が示されています。

第二次意見の「しょうがいしゃきほんほうかいせい しんぽんかいぎ」では目的や定義、基本理念
の項目に、「すべての障害者が障害のない人と等しく・・・」「障害の有無に関わらず、国民が分け隔て
られることがなく・・・」などが出され、「しょうがいしゃけんりじょうやく」の影響が伺えました。また、「障害のあ
る女性」「障害のある子ども」「労働及び雇用」「教育」「精神障害者に係る地域移行の促進と医療における
適正手続きの確保」など様々な年齢、障害種別にも配慮されたものとなっています。具体的には、利用者
負担に関して、負担が求められる場合は定率負担ではなく、本人の所得を基礎とすることや、障害者施策
の実施状況を監視するモニタリング機関を国や各自治体に設置して、これを過半数の障害当事者で構成
すること、などの意見が盛り込まれました。

改正される障害者基本法は、今後の障害者施策の抜本的な改革の基礎となる法律と位置づけられるもの
です。本年、政府が第二次意見を踏まえて、「しょうがいしゃきほんほうかいせいほうあん」をつくり、通常国会に提出する
予定となっています。第二次意見を何ら後退させることなく改正基本法に反映させ、本国会(第 177 回
常会)で成立するよう、立川の仲間、全国の仲間と力を合わせて、活動していきたいと思ひます。



福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》

平成22年度立川市障害者週間イベント 報告

立川市では今年も独自の障害者週間を定め、22日(月)～28日(日)に障害福祉課と福祉ホットラインの主催で障害の啓発イベントを開催しました。来場者は昨年を大きく上回る452名でした。

展示会

立川市女性総合センター「アイム」ギャラリーでは福祉機器(リフト・コミュニケーション機器・音声拡大読書機・屋内信号装置等)の展示や試用・相談会、福祉ホットラインのピア・カウンセラーと障害福祉課職員による出張相談、障害福祉に関わる制度のパネル展示、立川市内の福祉機関・団体のパンフレットや作品展示・映像による活動紹介を中心に行ないました。



5月に新設された立川市役所新庁舎の展示スペースにも市内作業所等から寄せられた作品を展示することで、より多くの方に障害者週間を知って頂くことができました。

また今回は、車いす体験のほかにDVD視聴による幻聴・幻覚体験を行ない、多くの方から「精神障害のある人がどんな不安を感じているのか、貴重な体験ができた。」という感想を頂きました。

映画上映会

イベント最終日の28日(日)、アイムホールにて、福祉ホットラインも委員として関わっている立川市人権学習事業実行委員会の主催で、児童福祉の父と呼ばれた石井十次の生涯を描いた「石井のおとうさんありがとう」映画上映会を行ないました。来場者は158名でした。また、岡山の加計美術館の協力を頂いて貴重な資料パネルをギャラリーに展示し、障害の有無や親と暮らせない理由に関わらず多くの子どもたちの生活を支えた石井十次の半生に触れる機会となりました。

重度訪問介護研修

昨年に引き続き、立川市自立支援協議会の生活専門部会では居宅介護者の人材確保を目的として、重度訪問介護従事者養成講習会を行ないました。

今回は立川市障害者週間で福祉機器の展示も行なっていることから、会場での実技を行なう目的もあり、週間期間中である24・25・26日の3日間で開催しました。受講生は8名で、地域のヘルパー派遣事業所と連携を取りながら、講習・実技を行ないました。受講された方の大半は、事業所登録をして介護ヘルパーとして活動されています。今後も多くの障害のある方の地域生活をサポートする介護ヘルパーの人材確保への取組みを続けていきたいと思っております。



来年度は、より多くの団体にご協力頂く形で障害者週間イベントを企画する予定です。

ちいきせいかつしえん 地域生活支援センターパティオ

ひろせあさみ
(廣瀬麻美)

今回は、プログラムと啓発活動、ピアサポート活動について紹介・報告をさせていただきます。

プログラムの紹介・報告

マナブとケイコ：第1・3週土曜日14:00～16:00

今年度上半期は、運動、詩・俳句、夏の体調管理など様々な内容で行ないました。夏の体調管理では、食生活や生活習慣など自分の健康について改めて見直すことを行ない、これをきっかけに普段の食事や体重に気をつけるようになったと、お話しされる方もいらっしゃいました。

アイエルビー（自立生活プログラム）：第2・4週金曜日14:00～16:00

アイエルビーでは、テーマを持ったプログラムを行なっています。今年度上半期は講師を招いてピアカンセリングの手法を学び、プログラムの中でお互いに実践してみるという時間を持ちました。2時間の中でお互いの悩みや気持ちを聞きあう充実した時間になっていたと思います。その他、クリスマス会や新年会などもメンバーで企画し、楽しみました。2月からは「オシャレ」をテーマにプロのエステティシャンを講師としてお招きし、正しい洗顔の方法や清潔について楽しく体験し、みんなで学んでいきたいと思っています。

その他、女性プログラムの「レディースデイ」、外出が難しい方の第一歩のチャレンジの「出るday」、作業所や仕事を考えている方の「お茶の子ハイサイ」など目的・曜日別にプログラムを行なっています。今後も皆さんに感想をお聞きしながらプログラムを行なっていきたいと思っています。プログラムの詳しい内容はパティオ通信をご参照いただくか、パティオスタッフまでお声かけください。

啓発活動・ピアサポート活動の紹介・報告

立川市障害者週間協力

立川市は、様々な方へ福祉や障害についての理解を深めてもらうため、障害者週間として様々な企画を行なっています。今年度、パティオでも精神保健福祉の啓発のために、協力させていただきました。障害者週間の期間中、自立支援協議会の精神部会で作成したサービスガイドの設置や、市内関係機関のパンフレットの配布、市内関係機関の紹介ビデオ上映、幻覚・幻聴を映像を通して体験できるコーナーを行ないました。

幻覚・幻聴体験のコーナーでは、来場された多くの方が体験されていました。精神障害の当事者からは、「これはとってもひどい状態だね。みんな、こうじゃないし、ちゃんと理解してもらえよう、精神障害の当事者からの話があったほうがいいね。」との貴重なご意見をいただきました。今後の企画に活かしていきたいと思っています。

ピアサポートグループ・りらく立川活動報告

りらく立川は、ピアサポート活動と退院促進活動を行なっている当事者活動グループです。月1回の病院訪問の茶話会で、入院されている方の退院に対する不安を聞き、地域で実際に暮らしている体験を話しています。長い活動の中では、りらくメンバーの入院や、退会される方など、メンバーが集まることができず話し合いの結果、毎月1回メンバーで集まる定例会と病院訪問をお休みにしていました。昨年頃から入院されていたメンバーの復帰など活動メンバーが戻り、少しずつですがこれからやりたい事

をみんなで考え、話し合っています。1月はお鍋を食べながらの定例会を行ないました。久しぶりに顔を合わせるメンバーもいましたので、とてもにぎやかで楽しい時間となりました。
(久木野明白香)

就労支援部門 《立川市障害者就労支援事業》

茶話会報告

10月8日の夕方、今年度初めての茶話会を行ないました。これは年1,2回、精神障害の方むけに仲間と語り、元気をもらいあうという趣旨で行なっているものです。今回は9名の参加があり、そのうち7名は就労中の方、2名は新規に登録し就職準備を開始したばかりの方でした。

簡単な自己紹介、近況報告の後、「持続可能な働き方をみつけるまで」というテーマでフリートークを行ないました。精神障害の方は病状が安定しないまま就職活動をしたり、病前病後の能力の変化を自覚できず、離転職を繰り返す人が多い傾向にあります。疲れやすさ、体調の波もあり、長く働き続けるには自己理解や自己コントロールの力などが必要です。

現在就労中の方から「無理しないで働ける環境が大切」「先のことを考えると不安感・無力感が出るので、まずは一日一日を大切に、明日のことだけ考える」「体調不良で突然休むのではなく、疲れを自覚したら早めに休みを取る」などの意見が出されました。それぞれの苦勞を聞きあい、自分だけではないということを確認するとともに、これから就職を目指す方にとって参考になるものでした。

職場体験実習報告

11月30日から12月10日までの9日間、恒例のN T T電話帳袋入れ作業を立飛内の倉庫で行ないました。今回は近場ということで、市内の福祉団体にお声をかけ、精神障害者B型事業所1ヵ所と知的障害者B型事業所2ヶ所にも参加して頂きました。

当センターの作業グループには登録者6名に加え、今回、1名分の体験枠を設け、利用を呼びかけたところ、前半はトゥリニテ（精神障害者就労移行事業所）、後半はチャレンジこぶし（知的障害者多機能事業所）から参加がありました。これにより当センターの支援スタンスや取り組みをより深く知って頂く機会となりました。受け入れや最終の振り返り面談で各事業所の担当職員に同席して頂き、就労支援に必要な視点などもお伝えできました。

今後市役所実習をはじめ職場体験実習の場を地域に提供し、移行事業所等からの受け入れなど具体的な取り組みを通じてネットワークの形成を図っていきたくと考えています。（白部貴子）



職場紹介 PART 12 ラウンドワン むさしむらやまてん 武蔵村山店

今回ご紹介するラウンドワンはテレビのCMでもおなじみの、ボーリング・カラオケ・ゲームセンターが一体となった大型アミューズメント施設です。

武蔵村山店では、野口さんが働いています。野口さんは長年勤めていた製麺工場を退職した後、当センターに登録しました。4ヶ月ほど準備をつみ、昨年3月より店舗の清掃スタッフとして働いています。

野口さんはそれまで清掃の経験がなく、当センターの体験実習で清掃を学び、こちらの仕事に勇気を持って挑戦しました。



この店舗では、それまで障害者を雇用したことがありませんでした。また野口さんと同時にもう一人、小平市就労支援センターほっと(以下ほっと)に登録している方の採用が決まったため、2名分の清掃業務の切り出し、業務スケジュールの設定、もともと清掃スタッフがいない中での実務研修の実施など、課題は山積みでした。そこでH W立川から店舗へ、2名同時の障害者雇用の難しさ、入職時から定着までの就労支援機関の役割を説明して頂いたことで、店舗の担当者・ほっと・当センターで協力して、二人を受け入れる前の職場準備を進めていくことになりました。

した。

2週間ほどの準備期間を設け、ほっと・当センターのスタッフが店舗に向き実際に清掃作業を行ない、清掃箇所・手順・方法・道具などについて支配人や担当社員の方と検討を進めました。営業時間中にお客様の邪魔にならず、かつ店舗にとって有意義な清掃が行なえるよう充分配慮しました。実務研修開始後も二人の作業の様子に合わせてマニュアルの修正を随時行なったり、研修後の業務スケジュールを検討したり、詳細な障害特性を会社にお伝えしたり、連日遅くまで店舗と支援機関で話し合いを重ねました。

このように、ほぼゼロからスタートした障害者雇用でしたが、採用された二人のがんばりはすばらしく、作業手順の変更や支援者の厳しい指導(?)にも耐え、2ヶ月後には他の社員からも信頼される清掃スタッフに成長していました。

勤務時間は9時から16時で、平日のみの出勤です。担当している清掃箇所は、エントランス、トイレ、通路、立体駐車場などです。1週間の作業スケジュールを2パターンづくり、二人が週ごとに交代して行ないます。スケジュールは開店時間やお客様の流れに合わせ、かつ作業が偏らないよう組んでいます。白々の担当箇所以外に「その他作業時間」を設け、状況に応じた時間調整、適宜必要な作業を組み込むことができるようにしています。また、開店後は常にお客様がいらっしゃるため、予定の作業ができない、急にお客様に話しかけられて困ってしまうといったことが起こります。そのときには社員用マイク(インカム)を使い、担当社員に指示を仰いだり、急いで来てもらうなどの対応をします。また担当社員は、業務スケジュールによって、二人の作業経過を把握し適切に指示を出します。こうした細やかな配慮が、二人の業務を支えています。

まもなく野口さんは、ここで働き始めて1年がたちます。当初はマニュアルを見ながらの作業でしたが、今ではすべて覚え、次々と作業をこなす姿に感心させられます。

野口さんの課題は、作業に一生懸命になるあまりお客様を意識した身だしなみが、ややおろそかになってしまう点です。アミューズメント施設では「お客様に楽しんで頂く」ことが大切です。清掃スタッフと言えど「接客業に従事している」意識が必要です。店舗や支援者と相談しつつ、ご本人は改善に向けて努力を重ねています。

現在、野口さんが安定して働き続けていられるのは、支配人や担当者など職場の方々のご理解、ご協力があり、ご本人ががんばっているからです。当センターでは、今後も野口さんを含めた二人が



ラウンドワンの社員として活躍していけるよう、関係機関と連携し支援していきたいと考えています。
(後藤智子)

知的事業

自立生活センター・立川では、内山綾子さんと泉口哲男さんにご協力頂き、同じ知的障害のある仲間に向けた情報提供や、プログラムの実施などの活動を行っています。



【10.29全国大フォーラム】2010年10月29日実施

毎年この時期に霞ヶ関で、全国から障害のある人が集まり、全国大フォーラム実行委員会主催の集会とデモ行進が行なわれています。今年のテーマは「今こそ進めよう！障害者制度改革 自立支援法廃止と新法づくりを確かなものに」でした。いくつかの会場がある中、私達は厚生労働省前で開かれている集会に参加しました。たくさんの人が自分の意見を主張する中、内山さんもマイクを持ち、「ヘルパーさんを少なくするな！ヘルパーさんがいないと1人で出来ないことがあるときに困る。ヘルパーさんをどんどん増やして欲しい。」と、自分の思いを述べられていました。



【ストレス発散プログラム Part 2】2010年11月6日・20日実施

人は誰もストレスを抱えています。ストレスとの上手な付き合い方を探るため、ストレス発散プログラムを2回に分けて行ないました。

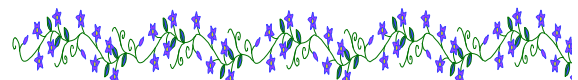
1回目はストレスの原因について話し合うという内容です。参加者一人ひとりが自分の抱えているストレスや悩みについて話し、それを絵で表現したり、出た意見を種類別に分類しました。参加者からは「みんな同じようなことでイライラしていることがわかった。」「話したら少しすっきりした。」「という声が聞かれました。

2回目はストレスを発散するためにカラオケへ行きました。行き先は1回目のときに皆で話し合って決めたものです。カラオケで盛り上がったあとは、ストレス発散後の気持ちを絵で表現してもらい、1回目に描いてもらった絵と比較しました。参加者からは「すごく楽しかった。」「みんなの気持ちはよくわかる。気持ちを話せる仲間は大切だと気付いた。」「という感想を頂きました。

【うっちい散歩～立川市障害者週間編～】2010年11月26日実施

街の中で不思議に思うことや気になること、分からないことを出発点に“うっちい散歩”と名付けてその疑問点などを調べています。今回は立川市障害者週間イベント取材し、記事にしました。

幻聴・幻覚（バーチャルハルシネーション）体験



映像を通して、主に統合失調症の急性期にみられる幻覚・幻聴の一例を体験できる。

お化けみたいな声が聞こえた。誰もいない場所で笑い声が聞こえた。誰に話しかけているのかわからなくて、ホーンテッドマンションみたいだった。日常的に聞こえたら怖いと思った。

音声、拡大読書器 よみともライト4

目が見えない人の代わりに、本や文章などを記憶して読んでくれる機械。

どうやって文章を読んでいるのか、わからなくて不思議だった。読めない漢字があるから、私もほしいと思った。点字が読めるのもいいと思った。

自立支援部

協力員活動「おすすめスポット」の取り組み

CIL立川の協力員の活動として、自らの手で取材や編集をおこなう「おすすめスポット」の取り組みをお伝えします。「おすすめスポット」活動は、障害当事者である協力員が中心となってバリアフリー



なスポットを取材・編集し、役に立つ魅力的なスポットをインターネット(CIL立川ホームページ <http://www.sh.rim.or.jp/~cilt/>)を通じて様々な障害のある仲間に伝えていくプロジェクトです。昨年度から活動が開始され、お花見特集・美容院特集・神社仏閣特集・公園特集・立川駅ペディストリアンデッキ特集・温泉特集と多くのスポットを掲載し、今年度は美術館特集・歴史散策特集・ランドマーク特集と計画を立て取材や編集作業に

取り組んでいます。

その中からいくつかご紹介したいと思います。三鷹の森「ジブリ美術館」は障害当事者である私たちが気持ちよく楽しめるよう従業員の方々が親切に対応してくれました。ハードの面ではすべてがバリアフリーとは言いきれませんが、それを気にさせないくらいソフト面での対応が良く、楽しませてくれます。また、西国分寺～国分寺駅間を歩く「国分寺尼寺跡」散歩はとても風情のある景色に出会え、誰もが気持ちよく散歩を楽しむことができます。

これからも活動を続け、取材してきた情報をまとめ次第、CIL立川ホームページに掲載する予定です。ぜひ、協力員がおすすめするバリアフリースポットをチェックしてみてください。

(大石幸治)

都立殿ヶ谷庭園



「出前講座」地域の学校で開催しています



2000年から立川市社会福祉協議会市民活動センターと続けている出前講座(障害のある仲間が市内の小・中学校等へ訪問し、生徒と交流しながら私たちのことを伝え、共に生きる事を学ぶ講座)も10年目になります。当時は年間20件ほどの交流でしたが、徐々にその機会は増え、今年度はおよそ60回ほど学校に訪問して子ども達との交流を重ねています。

講座の目的は、地域に住む障害のある方と

実際に触れ合うことで、障害や生活のことを知ってもらうこと、特別な存在ではなく同じ地域に住む市民であることを伝えることです。

交流内容は学校や学年によって違いはありますが、低学年では“自然な触れ合い”から感じてもらえるように、高学年では障害のある私達の話から“生活の視点”を考えてもらうよう取り組んでいます。

また、できるだけ一緒に活動できる機会を増やし、コミュニケーションが取りやすい小グループでのプログラムを行なっております。

その中で特に、「障害がある方と一緒にできる活動を考える」ことを大事にしています。例えばゲームでは、どうやったら一緒にできるかルールを考えたり、料理のプログラムでもそれぞれの役割を作ったり、また劇の発表会をする学校では、一緒に役者の台詞を考えたり台本づくりをしたこともあります。うまくできた、勝った負けたということは別として、アイデア次第で障害のある方と一緒にできるということを、体験を通じて知ってもらいたいという願いを持っています。

近年では小・中学校のほかにも、高校や大学・団体等からも依頼をいただくようになりました。このような活動が、地域のネットワークにもつながり、次世代を担う子ども達が「誰もが住みやすい地域社会」を身近なテーマとして一緒に考えていけたらと思います。(大石幸治)



クリスマスパーティー2010 報告



去る12月9日(木)柴崎学習館講堂にて、CILに関わって下さる皆さんの一番のお楽しみ企画、クリスマスパーティーを行ないました。

写真でも充分に感じて頂けるかと思いますが、もう一度振り返りながら当日の楽しさを噛み締めたいと思います。



今回の参加者は82名。職員も含めると約100名の熱気で講堂の寒さも吹き飛びました。

始まりのあいさつ、乾杯後、みんな一斉にの飲みや食事へ、一瞬講堂が静かに…。

その後、ゲーム、エンタメと宴もたけなわの時間です。



ゲームは簡単な問題と思いきや、いくつか難しい問題もあり、各テーブルのチーム戦として行ないましたが、答えがまとまらなかったりと、各テーブル苦戦していました。エンタメでは、歌あり（ポップからシャンソンまで）、またダンスありの大盛り上がりでした。

あつという間に、最後のコーナー、みんなを楽しませて下さった方への「がんばったで賞」の表彰、プレゼント授与へ。

そして、惜しまれる中、終了の時間になってしまいました。



2011年に向かって Let's GO!!

毎年、このクリスマス会を楽しみにして下さる皆さんとの時間を、職員もとても大事な時間と思っております。

また今年1年も（ちょっと早すぎますが・・・）クリスマスパーティーに向けて頑張しましょう！

（鈴木徳子）



しんじんしょうかい

新人紹介

名前：諸岡 涼子
 誕生日：6月26日 星座：蟹座
 夕食サービスを担当させていただくようになり、1ヶ月が経ちました。
 毎回新しい発見の連続で、木曜日は楽しく過ごす事が出来て、皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ慣れなくて、ご迷惑をお掛けしていますが、どうぞよろしくお願い致します。
 私は、季節の香りを感じるのが好きなので、休日にはなるべく外に出て、お散歩等をするようにしています。今週は育てているバラの植木鉢の土を取り替えました。春になって咲いてくれるのが楽しみです。

私たちの動き (10/1～1/31)

()は担当部門名 C I L・H L・就労・パテ

【イベント・行事の実施】

(C I L)

- ・出前講座(一小,西砂小,七小,五小,六小,若葉小,
新生小,松中小,上砂川小)
- ・ランチタイム(10/13,11/10,12/7,1/24)
- ・知的プログラム(11/6,11/20)
- ・クリスマス会(12/9)
- ・内部研修(1/28)

(H L)

- ・平成22年度立川市障害者週間(11/22-28)

(就労)

- ・お楽しみ会(10/1)
- ・茶話会(10/8)

(パティオ)

- ・年越しそば会(12/30)
- ・お雑煮会(1/2)

【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会(10/14,11/19,11/27,12/22)
- ・立川市自立支援協議会全体会(10/21)
- ・多摩療護園ワズバース(10/28,11/18,12/16,1/20)
- ・誰もが暮らしやすい立川を考える会
地区別懇談会(12/14,1/28)
- ・立川市地域福祉計画推進委員会懇談会(1/18)

(H L)

- ・立川市自立支援協議会全体会(10/21)
- ・関東ブロック会議(11/17)
- ・立川市人権映画会実行委員会(11/17,1/19)
- ・事業所連絡会(12/3,1/21)

(就労)

- ・多摩就労支援事業委託団体連絡会(10/15,12/17)
- ・立川市自立支援協議会全体会(10/21)
- ・オーナー連絡会(10/22)

(パティオ)

- ・立川市精神保健業務連絡会(10/19,11/16,12/21,1/18)
- ・たちせいれん(10/20,1/26)
- ・立川市自立支援協議会生全体会(10/21)
- ・グループホーム運営会議(10/28,12/22)
- ・立川市退院支援会議(11/11,1/13)

- ・立川市自立支援協議会精神専門部会(11/26,1/14)

- ・ いらく定例会(10/20,11/18,12/17)
- ・ いらく新年会(1/20)

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・ 放置自転車クリーンキャンペーン(10/22)
- ・ 富士見町防災訓練(10/23)
- ・ 厚労省交渉・ロービーイング(10/28,10/29)
- ・ C I L 北 10 周年記念式典(11/3)
- ・ 東京都交渉(11/19)
- ・ 社会的事業所学習会(11/23)
- ・ 市長とのタウンミーティング(11/24)
- ・ I L P リーダーズ(12/21,1/18)

(H L)

- ・ 東京都相談支援従事者現任研修(11/9.11.12)

(就労)

- ・ 障害者就労支援体制レベルアップ事業研修(12/2)

【講師派遣】

(C I L)

- ・ 桜華女学院(10/19)
- ・ 東京国際大学(11/9)
- ・ 障害者相談支援事業職員研修会(11/10.11)
- ・ 明星大学(11/12,11/22)
- ・ 民生委員研修(11/15)
- ・ 重度訪問介護従事者養成講習会(11/24-26)
- ・ 東京都相談支援従事者研修(1/11.12.19)

(就労)

- ・ 立川市自立支援協議会精神専門部会(11/26)
- ・ オープナー学習会(12/9)

ご寄付等、ありがとうございました

- | | |
|-----------------|-----------|
| ・ 武本 寛 様 | ・ 井上 芳子 様 |
| ・ 村田 文世 様 | ・ 内山 綾子 様 |
| ・ 藤原 康子 様 | ・ 飯高 京子 様 |
| ・ 立川メンタルクリニック 様 | |
| ・ 匿名希望 1 名 | (順不同) |

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川

〒190-0023 東京都立川市柴崎町 2 - 10 - 16 オ
ビル 2F

TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3

134